

「わからない」の原因を見つけよう

故障箇所がわからなければ修理のしようがない



まくべん先生 うけうり

ある日突然機械が壊れた。直すためには、どこが壊れたか、故障箇所を見つけなければ、修理のしようが無い。故障箇所を見つけるまでに時間がかかったり、故障箇所がわからなければ、永遠に修理のしようがないのです。

機械の「故障」を勉強に例えると「わからない」になるでしょう。今までわかっていたことが、ある日ある時ある瞬間に

わからなくなったことがありますか。そのような「わからない」は、特に英語、数学、理科の教科で起こりやすと言われています。

「わからない」を修理せずにそのまま突っ走ると、ますますわからなくなり、最後には「数学の方程式なんて生活の中で必要ないし」と開き直ってしまう事はありませんか。だからといって「わからない」を必死に考えても、なかなか「わかる」ようにはなりません。

故障箇所の見つけ方 その① わからないコトを確認する

勉強中、突然わからなくなったら、その瞬間が大切です。教科書やノートにすぐに印をつけましょう。わからないのは何か。問題、公式、用語、文章、考え方、意味、図、表??

何がわからないのか、ハッキリさせることが必要です。わからなくなった瞬間に行動しないと、わからないことを忘れてしまって、わからないことがわからなくなってしまう。

そして、勉強が終わる頃には「なんとなくわかったような気分」になってしまうのです。勉強が苦手な人の大部分がこの「なんとなくわかったような気分」にやられてしまいます。

故障箇所の見つけ方 その② 境界線を見つける

「ここまでは、ちゃんとわかっていただけ、ここから先がわからなくなった」という境界線が必ずあります。同じ種類の勉強内容を、1本の線にたとえて考えて見ましょう。

境界線は「わからない」のすぐ近くにあるとは限りません。前の単元かもしれないし、前の学年の教科書や小学校の教科書にあるかもしれないのです。中1の数学で文字式の計算でわからなくなり、境界線を探したら、小2の算数かけ算九九のところに境界線があるということもあるのです。



しかしこれは、なかなか難しい作業なので、先生に手助けを求める方法もありますが、「ここがわからない」は、あなたしかわからないのです。

故障箇所の見つけ方 その③

故障箇所は「わかっている」部分の一番最後にある

故障の原因は、「わからない部分」にあるのではなく境界線のひとつ手前、つまり「わかっている部分」の一番最後の部分が故障していることが多いといわれています。

「わかっている部分」の一番最後の部分が「わかっている」ではなく、「なんとなくわかったような気分」で終わっている場合が多いのです。それを「わかった」と思い込んでいただけということがあります。

いろいろな場合を想定しましたが、あとはていねいに修理すれば「わからない」部分が「わかった」に切り替わります。学習計画の立て方、ノートの取り方、「わからない」のはどこか、あなたにあった勉強法を一日でも早く確立させ、基礎学力の定着、さらに勉強の楽しさ、達成感を味わえるよう、努力しましょう。

「三日坊主、三日も続けばたいしたもんだ」

「わかったような気分」からの脱出術

わからない問題に出会ったことがない人はいないと思います。

「わからないこと」「わからない問題」への修理方法は大きく分けて3つ。

1. 自分で調べる 2. 人に聞く 3. ほっておく 「ほっておく」は最悪の選択です。



場面① 授業中の「わからない」

これは一番簡単、その場で先生に聞けば良いからです。しかし、いつでもどこでもというわけにはいきません。「今、質問してよい状況か」と考える必要があります。「空気を読む」ということです。先生が指示を出しているときや説明しているときだったら、しばらく遠慮する必要があります。そのうち、先生は必ず「はい、いいですか」とか「わかりましたか?」とか「質問はないですか」と区切りをつけます。そこが聞き時。

よく先生の説明中に幼稚園児のように一問一答の質問する人がいますよね。ウケをねらって冗談まで……。クラス全員が集中して先生から学び取る権利を、一人または数人で破壊してしまう行為なので、受験生、中学3年生の自覚を持って空気を読んでください。

場面② 家の勉強での「わからない」

実はこれが最も多く、対処がむずかしいのです。もっとも家で勉強しない人は、この恐怖におびえることはありません。なんとかかなりそうな「わからない」なら、自力で教科書やノートを参考に「わかる」まで頑張ってください。

自分で「考える」ことはとても尊く、そして忘れにくいものです。しかし、「どうにもならない」という問題なら、時間制限が必要です。ただでさえやることが多い、家での勉強。時間を無駄に使って、睡眠時間を失ってしまうと本末転倒。 次回に続く